

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 3 日

Table with columns for 事務事業名, 政策体系, 予算科目, 事業区分, 担当, 所属課, 事業期間. Includes details for '農地中間管理事業' and '水田農業対策事業'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes sub-sections for 手段 and 対象.

Table with 3 main columns: ①手段, ②対象, ③意図. Each column contains specific activity indicators and target values for 27-31 fiscal years.

Table for (3) 投入量 (事業費) の推移. Shows financial and personnel costs for 27-31 fiscal years, including a breakdown of expenses and personnel costs.

Table for 事業費の内訳. Compares 28年度実績 (Actual) and 29年度事業費 予算 (Budget) for 19 負担金補助及び交付金.

Table for (4) 当該年度の実施内容. Lists implementation content for 29, 30, and 31 fiscal years, with a note on how to record the content.

事務事業名	農地中間管理事業	事務事業No.	50103000949	所属課	農林課
-------	----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ・農業の現場においては、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの課題が生じています。このような状況を受け、国では、平成25年12月に策定した「農林水産業・地域の活力創造プラン」において、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進める担い手への農地の集積を推進する方針を示した。 このため、担い手への農地集積・集約化を図るため、平成26年4月1日に茨城県農林振興公社を農地中間管理機構に指定しました。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・農地中間管理機構の借受基準が厳しく、事業を活用しにくい。 (遊休農地保有者、2.5m程度以上の公道に接している、借受け希望者が十分に見込める農用地等)	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 ・農地集積については、出し手と借り手の双方の意見が一致しないと進まないで、慎重な話し合いが必要となる。	
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・国の政策事業であり、担い手への農地集積・集約化を加速し、生産コストを削減していくことは、農業の振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・国の政策事業であるため、行政が取りまとめるのが妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ・借受農地の要件等が緩和されれば、農地貸付け希望者が増加するので、さらなる農地集積が見込まれる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・事業が廃止された場合、農地集積が進まず経営体の農業経営が不安定になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない ・類似事業はなく、統廃合はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ・必要最低限で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・国の政策事業であり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・農業従事者の高齢化等により農地の貸付希望が増加し、農地中間管理機構を活用した担い手への集積が向上した。 次年度以降も農地中間管理機構を活用し、農地集積を推進していく。																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・農地集積については、農地の出し手と借り手の双方の意見が一致しないと話が進まないで、慎重な話し合いが必要となる。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認